

## 農業用フィルム

フィルムには軟質のものと硬質のものと分かれています。軟質のものは農ポリと農ビに区分されてトンネルやハウス等に使用されます。硬質のものはフッ素フィルムとPETフィルムに区分されて屋根型ハウス等に使用されています。

農ポリにはさらにポリエチレン(PE)、ポリ酢酸ビニル(EVA)、またこの二つを約3〜5層の多層に成形した農POがあります。ポリエチレンは耐久性・耐塵性・透明性に優れ、ポリ酢酸ビニルは保温性・防滴性・防霧性に優れます。農POはこの二つを併せ持った特長があります。農ビと農ポリのそれぞれの特徴は表1のとおりです。

【表1】軟質フィルムの特徴

種類	農業用ポリ塩化ビニルフィルム(農ビ)	農業用ポリオレフィンフィルム(農ポリ)
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期透明性に優れる</li> <li>保温性がよい</li> <li>防滴・防霧がよい</li> <li>擦れや熱に強い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽い</li> <li>汚れにくい</li> <li>寒さや風に強い</li> <li>防滴持続性がある</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>重い</li> <li>汚れやすい</li> <li>破れると広がりやすい</li> <li>寒さに弱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期透明性がよくない</li> <li>硬くて伸びにくい</li> <li>擦れや熱に弱い</li> <li>硫黄性農業に弱い</li> </ul>
耐久年数	1~4年	1~5年

ます。気温が低下してきた時期に使用するのが最適で作物を保温し、寒さや霜、病害から守る役割を持ちます。光線透過率が高く、作物の光量不足による黄変、徒長抑制の効果も持ちます。またマルチシートと併用することで品質向上につながる使用方法もあります。

被覆をするので防虫対策にも効果を示しますが、べたがけする場合は作物の接触部分に害虫の卵を産み付けられる場合があるのでトンネル支柱や農業での対策が必要です。



## マルチシート

地温上昇促進・抑制、雑草防除、泥の跳ね上がり防止、害虫忌避などの作物栽培に対して好適な土壌環境を作るための資材です。効果はマルチの種類によって異なるため、目的に適したマルチを選択することが重要です。

# 営農だより

## 農業用資材の説明

経済部 営農販売課 宮柱 晋也

栽培において、作物に適した環境にすることにより環境ストレスの軽減を計り品質向上や増収栽培を見込むことができます。各作物の好適環境にするためにそれぞれの性質を押さえて目的に適合した資材選択をしましょう。



お問い合わせは  
資材センターまで

種類	効果
透明マルチ	地温を上げるのに最も適したマルチ。雑草を抑制する効果は低いが冬春時期に多く使用されるため、さほど気にする必要はない。
緑色マルチ	透明マルチに近い地温上昇効果を持ち、黒マルチほどではないが雑草を抑制する効果もある。透明と黒の中間フィルム。
黒色マルチ	地温上昇効果は透明や緑より低いが、雑草抑制効果は非常に高い。
通気性マルチ	通常マルチでは水分が地表近くに集まることで根張りが浅くなるが、フィルムにあけられた小孔によってそれを防止する。
光反射マルチ	銀色や白色フィルムであり、光を反射させることによりアブラムシ等の飛来を防止する効果を持つ。地温上昇と雑草抑制効果も持つ。
二層マルチ	表面が白色か銀色、裏面に黒色フィルムを重ねたマルチ。表面で光を反射し、裏面で光を通さないため地温が上がりやすく、非常に高い雑草抑制効果を持つ。

## 収入保険制度スタート

平成29年6月16日の通常国会において「収入保険制度の導入と農業災害補償方の一部を改正する法律」が成立しました。

収入保険制度の実施主体は、全国農業共済組合連合会であり、事務委託を受けた各都道府県の農業共済団体が引き受け等の業務を行います。加入対象者は青色申告実績が1年以上ある農業者になります。JAよこすか葉山では9月13日(木)に本店で説明会を開催しました。

尚、収入保険制度と野菜価格安定事業は同時加入できませんのでご注意ください。

詳しくは下記にて先までお問い合わせください。



神奈川県農業共済組合 ☎0463-64-3211 <http://www.nosai-kanagawa.jp/>

## 寒冷紗

化学繊維を平織りにした布でできています。作物や種まき後に張ることによって被覆部を遮光して乾燥や暑さ避け、台風などの強風避けに使われます。基本2種類の目合いがあり、大きい目合いの#200(約1mm)と小さい目合いの#300(約0.5mm)となります。主に#200は定植したキャベツの台風避け、#300はキャベツの苗間や他作物の種まき後の日よけや虫除け、またダイコン畑の風除け等に使用されています。保温性はあまり高くないので冬場での保温効果には期待はできません。



## 不織布(べたがけシート)

ポリエステルやポリプロピレンなどの素材を熱や樹脂で接着して組み合わせた布でできてい